



▲「笑いとおしゃべりいっぱい市」が開催されました

10月2日、深谷大上ふれあいの家で「笑いとおしゃべりいっぱい市」が開催されました。晴天の中、大上地区社会福祉協議会役員の皆さんが作った食べ物が用意され、手作りでリフォームされた着物のファッションショーなどが披露されました。訪れた方からは笑い声が聞こえ、楽しげな様子で秋の一日を堪能したようでした。

【大滝 隆司】



▲「野草等観察会」が開催されました

10月1日、落合自治会館と落合キツツきの森で「野草等観察会」が開催され、市民35人が参加しました。キツツきの森では、講師の馬場しのぶさんから野草の名前や特徴などの説明を受けながら観察を行いました。参加者からは「説明が良かったです。花が少なかったので、来年春にもう一度開催していただきたいです」との感想が寄せられました。

【福島 順一】



▲法被を着た子どもたちとおみこし

10月9日、寺尾天台4区であおぞら子ども会のおみこしが行われ、41人が参加しました。法被姿の子どもたちが、元気な掛け声で練り歩くと、沿道の方から声援が送られました。同会の吉田会長は「雨や風の影響で開始時間を遅らせましたが、参加した皆さんは楽しんでくれたようで、満足しています」と話しました。

【高島 勝】



▲綾瀬産の稲を収穫

10月10日、早川の田んぼで地球チャイルド(松本俊雅代表)の稲刈りが行われました。親子ら50人が参加し、時には尻もちをついて作業しました。子どもたちは顔に泥を付けながら「こんなにたくさん取れた」と得意げに稲穂を見せてくれました。稲刈りの後には餅つきも行なわれ、大人も子どもも収穫の秋を満喫していました。

【笹山 真琴】



▲暮らしをサポートする大切なパートナー

10月23日、オーエンス文化会館で「動物フェスティバル神奈川2016inあやせ～支え合ういのち～」が開催され、聴導犬や介助犬の仕事内容のデモンストラクションなどが披露されました。見物していた方が飼い主から許可をもらい、ブースに戻った介助犬を「いいこだったね」と褒めながらなでていました。暮らしをサポートする大切な“パートナーさん”ありがとう。

【馬場 正勝】



▲市商店会連合会の芋掘り大会

10月23日、市商店会連合会(大上・中村・綾西・綾北商店会)による芋掘り大会が行われ、家族連れなど約70人が参加しました。皆さん長靴を履き、手袋をして、一生懸命サツマイモを掘っていました。最後には、全員で掘ったサツマイモを4kg程に小分けし、お土産として持ち帰りました。

【米山 徳治】



◀高橋秀樹さんのピアノに感動

10月15日、オーエンス文化会館で開催された市民文化祭音楽部門に高橋秀樹さんが出演し、ピアノを演奏しました。高橋さんは知的障がいと視覚障がいがありますが「一緒に音楽を楽しむことは大きな喜びです」という言葉どおり、会場は楽しげな旋律で満たされ、たくさんの拍手が湧き上がりました。

【情報提供・市民活動センターあやせ 細谷悦子さん】



署名記事は広報まちかど特派員から



▲踊る子どもたちに拍手と歓声

10月29日、北の台小学校で同校PTAによるわいわいサークルが開催されました。地域の自治会や地区社会福祉協議会など14団体が協力・出店し、にぎわいを見せていましたが、特にステージで踊る子どもたちに、集まった大勢の観客から惜しめない拍手と歓声が沸き、会場全体が盛り上がりしていました。

【吉江 旭】



▲小園地区防犯パトロール隊一斉パトロール

10月15日、小園公園に小園地区防犯パトロール隊員など138人が集まり、同地区内で一斉パトロールを実施しました。出陣式の後、2班に分かれて4区内と9区内で、防犯チラシ・グッズを配り、ごみを拾いながら防犯を呼び掛けました。一斉パトロールは市内では小園地区だけの取り組みとのこと。

【写真提供・笠間芳之さん】【高橋 元】



▲綾西小の児童が図書館を見学しました

10月26日・27日の2日間にわたり、綾西小学校の2年生約160人が、生活科の授業「市内のみんなが使う街の施設」の一環として、市立図書館を見学しました。児童たちは、施設の概要などの説明を受け、内部を見学しました。見学を終えた児童からは「自分で作った本も置いてもらえるのか」などの、子どもらしい質問がありました。

【情報提供・市民活動センターあやせ 上甲道子さん】